

第19回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時 平成21年12月16日 13時15分～14時3分

2 場所 教育庁第一会議室

3 出席者

委員	比嘉 委員 (委員長) 鎌田 委員 東 委員 安次嶺 委員 中野 委員 金武 委員 (教育長)	(欠席委員)
教育庁	統括監等 課長及び班長等	教育管理統括監、教育指導統括監、参事 総務課長 財務課長 施設課長 福利課副参事 県立学校教育課長 義務教育課長 保健体育課長 生涯学習振興課長 文化課長 全国高校総体推進課長
	職務のため出席した者	(事務局) 総務課副参事兼総務班班長 県立学校教育課人事管理監 県立学校教育課人事班主幹 県立学校教育課人事班主査 生涯学習振興課主事
	4 傍聴した者	記者3人 / その他1人

平成21年第19回県教育委員会会議(定例会)

開会 (13:15)

委員長	それでは、ただいまから平成21年第19回県教育委員会会議・定例会を開催いたします。 はじめに会期の決定を行います。本日一日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	では、このとおり決定します。 次に、第16回、前々々回会議録の承認を行います。中野委員お願いします。
中野委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているということですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	では、このとおり決定します。 次に、前々回会議録の承認を行います。鎌田委員お願いします。
鎌田委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているということですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	では、このとおり決定します。 次に、前回会議録の承認を行います。東委員お願いします。
東委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているということですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	では、このとおり決定します。 今回会議録署名人は安次嶺委員にお願いします。
安次嶺委員	はい。
委員長	次に、教育長報告をお願いします。
教育長	今回は教育長報告はございません。
委員長	それでは議事に入ります。本日の議題は議案が4件となっております。なお、議案第3号及び第4号は人事案件ですので非公開としたいと思いますがよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	では、このとおり決定します。 次に、議案第1号の説明をお願いします。
総務課長	(議案について説明を行う。)

委員長	御質疑ございますか。 (しばし間があり) それでは、このとおり決定してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	では、このとおり決定します。 次に、議案第2号の説明をお願いします。
学振課長	(議案について説明を行う。)
委員長	御質疑ございますか。
鎌田委員	宮古島市の地元は県の方針を受け入れ、廃止という結論を出している。「市の図書館として活用し、市民の文化活動に役立てたいとの意向が示された」とあるが、廃館となった場合、地元の声をどのように収集していくのか。分館があつたことのメリットが縮小されないように、地元の意向をどのように受け止めて、今後どのようにしていくのか。地元と話し合いをしながら煮詰めていくのか。
学振課長	平成19年から宮古島市の行政及び地元の住民の方々に説明をしてまいりました。行政関係につきましては、宮古島市では市立図書館の新館構想がありますので、新館ができるまでの間、現在の宮古分館を使用したいという要望があります。地元の住民の方からは、郷土資料についてぜひ地元に残してほしい、また、郷土資料以外の一般図書についても、学校等で活用したいという話がありました。そういう要望に対しては、できる限り応えていきたいと考えております。
鎌田委員	宮古島市の関係者と話し合ったという話だが、宮古地区には多良間村もある。多良間村も村立図書館があるが、宮古分館があつたことによって多良間村にはどんなメリットがあったのか、その部分の分館廃止後の対応について地元とはどのように話し合ったのか、あるいは今後話し合っていくのか。
学振課長	一括貸出等のサービスは、現在は分館を通じて行っておりましたので、分館廃止後は本館から直接多良間村立図書館に対して一括貸出等のサービスをして対応していきたいと考えております。
安次嶺委員	宮古地区として、市の図書館を住民のために活用するという考えを持っていただきたいと思う。多良間村であれ、宮古島市であれ、宮古地区として活用してほしい。県立から市立に移っても、市単独ではなく、従来の県立図書館がカバーしていた宮古地区全体のサービスが継続できるようなかたちを宮古島市に

	もとつていただきたいし、多良間村等周辺の小さな町村が従来と同じように使えるという体制を、宮古島市や多良間村の合意の下で作ってほしい。地域の方々が、共同のものであるという認識を持っていただければと思う。
学振課長	県としては、引き続き、宮古地区も含めて全県的な図書サービスの充実を図っていきたいと考えております。
委員長	<p>県立の役割と市町村立の役割があると思うので、うまく連携をとりつつ、図書館サービスや読書支援の活動が、子供たちや県民に対してより充実できるような形を考えて検討してほしい。</p> <p>教育長、八重山分館に関してはまだ議案として出せる状況にないということで今回は宮古分館だけを廃止する議案ということでよろしいですか。</p>
教育長	はい。今回はいろいろと調整する必要があつて提案を見合わせましたが、次回は議案として提案できるように努力してまいりたいと考えております。
委員長	<p>できるかぎり教育長も地元に直接足を運んで、地元の皆さんとの声を直接拾つて話し合うよう、お願いします。</p> <p>それでは、提案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>では、このとおり決定します。</p> <p>第3号議案からは人事案件で非公開となるが、その前にお時間をいただきたい。今回の教育委員会会議は今年最後なので、少し総括をしたい。</p> <p>1月からこの体制で始まり、「行動する教育委員会」「開かれた教育委員会」としてできる限り現場の声を聞くという形でこの1年間活動してきた。特別支援学校4校を含めて15校の学校を視察し、市町村教育委員会の研修会には2回参加した。また、5教育事務所管内の市町村教育委員との意見交換会や懇親会を持ち、公安委員会との意見交換会やPTAとの懇親会、11月には移動教育委員会も開催した。今年、委員全員で一番力を注いだのは、教育委員会の自己点検・評価だったと思う。8つの主要施策に基づいて毎年行われている事業がどのように実施され、どんな成果や課題があるのか、これからどのように取り組んでいけばいいのかということを点検評価するにあたり、事務局と一緒に教育委員会が主体的に取り組めたことは、前進だと思う。いろいろと新しい試みをしてきたが、合議制の教育委員会の役割と責任ということについて、実践の中で模索してきた一年だったと思う。今年取り組んだことを受けて、来年、新しい体制の下で今後の教育委員会の活動のあり方につなげていってほしいと思う。</p> <p>県民も、教育委員も、事務局職員も、皆の願いは、等しく子ども達の明るい</p>

未来のために、どのように夢を実現できる子を育てるのか、力強く生きていける子どもをどう育てるのかだと思う。そのために皆が一丸となって取り組んでいける体制、仕組みをこれから一緒に作っていけたらと思う。

休憩します。

(以下は非公開部分のため省略します)